

[平成29年 2月 1日歴史文化魅力発信調査特別委員会-02月01日-01号]

◆芝田 委員 おはようございます、公明党の芝田でございます。

本特別委員会もこうやって理事者の皆さん方と質疑をできるのが最後かなというふうに聞いております。前回7月も登録エントリーさせていただいたんですが、ちょうどその日が国内推薦の発表、昼からということで、配慮もさせていただいたんですが、結果が思わしくなかったので大変残念な限りでございます。

きょうも先ほどからこの世界遺産登録についての質問があるわけですが、私も今ちょっと現場に入って、小さな単位で市政報告会と語る会とさせていただきまして、その中で冒頭どういって話をして、参加者の皆さん方にしようかなといった中で、ちょうどやはりことしのチャレンジの中で大きな、堺市にとってもこの百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産ということで、当局にちょっとお願いしまして、こういったチラシとか、そのチラシの裏には百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の会と、入会申込書も入れていただいて、またメモとか、こういったクリアファイルもいただきまして、大変喜んでいただいております。

その中で、なかなかやはり市民の方でもこの認知が差がありまして、それはもうしょうがないなというふうに思うんですけど、先ほどからの質疑の中で、お金もかけて、そしてまた堺市の皆さん方が御努力されてるということで、何とかことしは国内推薦をクリアして、通って、世界文化遺産登録に我々議員も力を合わせて進めていきたいと思っております。

きょうは通告では、まず世界文化遺産登録についての内容で、このスケジュールについて、先ほどもありましたけれども再度確認したいと思っておりますので、御答弁お願いいたします。

◎勝真 世界文化遺産推進室次長 ことし平成29年3月に推薦書原案を文化庁に提出いたしまして、7月に開催予定の文化審議会でも国内推薦が決定されますと、平成30年の秋ごろにはユネスコの諮問機関であるイコモスが現地調査を行い、その後、平成31年の7月ごろにはユネスコの世界遺産委員会において登録の可否が決定される予定でございます。以上でございます。

◆芝田 委員 ありがとうございます。せんだって、この委員会の主催で研修会もございまして、福永先生が講演をさせていただいたんですが、今回この7月に国内推薦できなかった中で、その前の年からも文化審議会ですか、いろいろ課題を、同じ5つの中で、より文章も細かくして、その内容についてしっかり出していくことが、この3月に推薦書原案の中に盛り込むという流れなんですけど、その中で、いかにせん先生の中で、やはり私も余りその辺、階層性とかね、そういったことがございまして、なかなか我が会派の議員からも、いろいろこれはなかなか難しいなというようなこともあったりして、私も何回読んでも、なかなかこの古墳の階層性が示す顕著な普遍的価値の合理性を検討し、その結果に基づき構成資産の選択を論理的に説明すること。その際、時代設定と資産構成との整合性

についての可能性あるパターンを検討の上、最も合理的な理論構築を図ること。

また、2番目は、各構成資産がどのように全体としての顕著な普遍的価値に貢献してるか、主張する評価基準との関係で合理的に説明をすることということで、同じような内容で3があり、また、4、5は、周辺の整備とか交通アクセス等が出されてるわけですけど、この福永先生のお話を聞いて、やっぱり専門的にやられて応援もしていただいているということで、御努力もされてるということで、ある程度、自分の頭の中ではなされたので、ただ、しっかりこの3月に向けて、この辺、しっかり漏れのないように、そしてまた、この講演の中にありましたように、まさにライバルというか、そういうとことのいわゆる競争でありますので、情報も出さない、出してはいけない情報はしっかり抑えていただくということも教えていただきましたので、我々議員としても、議員団としても注意せなあかんということを再認識させられたわけでございます。しっかりまた御努力で成果が出るように期待をしております。

そしてまた、この百舌鳥の古墳群におきまして、世界遺産登録の中で、我々会派のほうで以前提案させていただきました、このガイダンス施設も整備が進んでるということでございますが、現況について簡単にお示しください。

◎勝真 世界文化遺産推進室次長 (仮称) 百舌鳥古墳群ガイダンス施設については、現在展示を含めた設計を行っております。ガイダンス施設のコンセプトである学び、交流、周遊、景観のキーワードに即した検討を行っており、平成31年度末の開館をめざしております。以上でございます。

◆芝田 委員 ありがとうございます。このガイダンス施設の展示の考え方についてはどのようなことを考えられておりますか。

◎勝真 世界文化遺産推進室次長 ガイダンス施設の展示の考え方についてですけども、昨年度策定いたしました基本計画の中で、来館者の百舌鳥古墳群に対する知的好奇心を喚起し、主体的な学びを促すために、百舌鳥古墳群の往時の姿を再現いたしまして、来館者が古代日本の世界を体験できる施設機能を備えることとしております。これに即した体験的な展示をめざしております。以上でございます。

◆芝田 委員 先ほど、今の答弁でありましたように、具体的な体験的な展示というのはどのようなものか。

◎勝真 世界文化遺産推進室次長 博物館とは異なりまして、出土遺物等の実物展示ではなくて、映像や模型などを活用し、来館者がみずから実際に体験しながら百舌鳥古墳群の価値について理解を促すような展示をめざしておるところでございます。以上でございます。

◆芝田 委員 先ほども会派からの要望でこういったことが実現したということをお知らせいただきましたけれども、私たち会派の有志で石見銀山のほうも行かせていただきまして、そのときにいわゆる語り部の方もおられたり、そしてまたガイダンス施設もあって、そして、まずそういうのを見て、その全体像、また先ほど御答弁いただきました知的好奇心も喚起

できたという、そういう実感もあって要望していたわけでございます。

世界遺産登録に向けて、今、国内推薦の中で皆さん方、御努力されてるわけですけど、並行してこういったガイド施設も有効であるということで認知をされて進んでるわけですけども、やはりこれはその推薦がことしいけるか、また、万が一いけなくても、これは進んでいくわけですけども、やはりその中身、そしてまた観光客、また来館される方が、ここの施設でよりイメージが湧いたとか、またいろんな体験があって本当によかったと言えるようなことになっていただくように、ハード含め、ソフト含め、展示を含め、いろいろ御努力をお願いしたいわけでございます。

博物館の中にありますシアターがありますけども、この辺のすみ分けはどのように考えられてますでしょうか。

◎勝真 世界文化遺産推進室次長 新しいガイド施設のほうにも映像のほう、先ほどお答えさせてもらいましたが、映像や模型ということになっております。今現在上映しております博物館等のVR、バーチャルリアリティー映像等については、今現在検討、すみ分けについてしておるところでございます。以上でございます。

◆芝田 委員 わかりました。どうぞこの世界遺産登録に向けて、気を緩めることなく、そしてまた並行してガイド施設の整備にも御努力をお願いいたしまして、この項目は終わらせていただきます。

次に、いわゆる歴史文化魅力発信事業についてでございます。まず、本市において歴史文化資源はどのようなものがあるのか、お示してください。

◎上西 観光推進課長 歴史文化資源についての代表的なものとして御紹介させていただきますと、本市には百舌鳥古墳群を初め、茶の湯を大成した千利休や、歌人、与謝野晶子、また由緒ある神社仏閣、それに和菓子や刃物、線香などの伝統産業、山口家住宅や清学院など、先人たちから受け継がれてきたさまざまな歴史文化資源がありまして、それら資源を活用した観光振興に現在取り組んでるところでございます。以上でございます。

◆芝田 委員 御答弁で先ほどから議論しております百舌鳥古墳群、そしてまた堺の生んだ偉人、千利休が大成した茶の湯、そしてまた由緒ある神社仏閣等、そしてまた伝統産業、和菓子や刃物、線香等のことを挙げられました。また、町家としての山口家住宅や清学院等も挙げられたわけでありまして。今、列挙された内容見ても、堺には歴史文化資源が豊富であるし、また多様な、多様な資源があるかなというふうに思っております。

私も堺生まれではないんですが、14年前に議員になっていろんなところに委員会等、また皆さん方のいろんな勧めで市内等、またこういった施設を見学もし、堺に住んで、三十何年住んでたんですが、なかなか知らなかったことがあるということで、やはりその資源は眠ってるという言い方、その自分が主体になれば、それが眠ってたと、見て初めてそれが生き返ると言ったら言い方悪いですけど、そういったことで昨今の観光ブーム、何か歴史文化資源といえば何か観光と結びつくし、それはそれで当然ですし、また財政の厳しい自治体運営の中で、どうこの観光誘客に取り組んでいくか、そしてまたインバウンド

の海外の方を呼び込むというのは、これはやっぱり自治体運営のまた競争の中で、当然皆さん方も、文化観光局もつくっていただいているわけでありまして。

そういった意味では、この魅力をどう発信していく、これが大事でありますし、またそういう事業もされてるわけでありましてけれども、この魅力発信事業についてお伺いしたいと思います。

◎上西 観光推進課長 こちらの事業のほうでございますけれども、まずはそういう歴史文化をいろいろ活用した事業として御紹介できるのが、まず毎年春と秋にふだん非公開の神社仏閣を期間限定で公開する堺文化財特別公開を行ってございます。この取り組みにおきましては、新たな魅力を情報発信するために、テーマの設定の工夫でありますとか、初公開となる神社仏閣を常に加えるなど、新たな客層を取り込みリピーターの誘客にもつなげるように取り組んでるところでございます。

効果のほうはよろしいですか。

◆芝田 委員 では、効果についてお示してください。

◎上西 観光推進課長 その、まずこちらの効果でございますけれども、直近の昨年秋の11月の3日から6日、また11日から13日の都合7日間で開催しましたこの文化財の実績でございますけれども、特別公開箇所、またコンサートや呈茶などの特別企画、また関連施設、こういったところへの来場者合わせまして、約4万5,000人の方に御来場いただいているところでございます。以上でございます。

◆芝田 委員 ありがとうございます。先ほどから言っております、いわゆる本市には歴史文化資源があるということでありまして、また、その魅力を引き出すのもこういった発信事業がなかったらいけませんし、またそういう誘導するインセンティブなお仕事をしていかなければならないわけでありまして、ここでいわゆる私なんかでも、やはりいろんな面では成果が出て、右肩上がりの本市内の観光客の増というのは聞いておるんですが、まだまだいわゆるやり方によっては、そしてまた工夫によっては、この資源がもっともっと生かされて、本市にいろんな意味での貢献をなすんではないかと、そのように思うわけですが、当局として、この歴史文化資源の本市のいわゆる潜在能力の高さや、また魅力の高さというのはどのように現状認識をされてるのか、お聞かせください。

◎上西 観光推進課長 本市のいわゆる潜在能力の高さ、魅力の高さということでございますけれども、やはり本市の観光振興の基軸であります歴史文化というものがやはり潜在的な魅力を持つものであるというふうに考えてるところでございます。

ところが、堺の場合は大坂の陣や、さきの戦災で多くの神社仏閣等の歴史的建造物が失われてる現状がございまして、このような中、観光ボランティアガイドさんによりまして歴史ロマンを交えたわかりやすい案内など、堺らしい観光振興に取り組んでいるところでございます。

こうした結果、観光ビジター数は文化観光局が設置されました平成23年度は約790万人でございましたけれども、平成27年度には983万人と増加してございまして、堺

の観光資源には潜在能力を生かした高いポテンシャルがあるというふうに考えてございます。以上でございます。

◆芝田 委員 ありがとうございます。答弁の中でも、いわゆる本市には230名の観光ボランティアの方がおられて、私も観光バスで市内を回ったときに、本当に丁寧に、そしてまた上手にされたということで、そういう資源があって、またそれをよりわかりやすく説明をするボランティアさんの方も本市にも根づいて、そういったことが魅力の高さをより高めていくという相乗効果もあるわけですから、そういった意味で、これが、それだけじゃなくて、いろんなことが重なって進んでいくかなというふうに思います。

最後に、利晶の杜なんかですけれども、私らもあそこの文化観光拠点がなかなかいろんな問題があって進まなかったわけですけども、利晶の杜もそれなりの来場者数もあって効果もある。そしてまた我々地元の自治会の老人会の方に聞いても、行ってきたよという、また、あそこで食事したよというような、本当にそういったことで、あれもやはり施設そのものももちろんそうですし、またいろんなソフト、いろんな展示を、本当にリピーターを募るがゆえにいろんなことをされてるわけですけども、あそこにやっぱり今、若者に人気あるスターバックスというコーヒー専門店、そしてまた、やはり豆腐というコンセプトというか、食材にした梅の花という、まさにそういったことがうまくミックスして、本当に中に行かなくてもそこだけ行く方ももちろんおって、そういう施設があって、そういった、あれがまた別のところだったらどうなるという、そういう組み合わせ、ミックスというのが大事でありまして、また複合施設の中でもいろんなことを検討しながら誘客に取り組んでいただきたい。

そしてまた、産業環境委員会で、ある委員が言っておりましたけど、やはり山之口商店街とのこの人の流れにもしっかりといろんな手だて、スタンプラリーとかされてるとは聞いておりますけども、そういった意味で本当にいろんな中で、冒頭言いましたように市政報告会しても、やはり我々が言ってるように、堺市、いろんなことが、資源があったとしても、なかなか点在してて、なかなかそれがもう本当にずっと前から言われてる、それが線になり、面になっていないんじゃないか、また、その交通アクセスもどうなのかというような課題もやはり多いのは事実でありますし、その中で一つ一つ解決していただいているのも、これはやはり我々も、私も議員として現場を見させていただいてるわけでありまして、そういった意味では潜在能力の高さ、そして魅力を引き出すためにも相当の努力を今後もしさせていただいて、本市のいろんな意味での何ていうかな、財源の確保と言うてあれですけども、最後お金かとなってしまいますけども、そういったことも含めてよろしくお願いをしたいなというふうに思います。

やはり以前もちょっとどっかの委員会で言ったと思うんですけど、やはり名画とか、またすばらしい何という文化資源というのは、こちらが何もなくても向こうから語りかけて、その見た方に感動を与える、そしてまた大きなものを植えつけるということがあります。その資源があるわけですので、そういった意味では今後とも努力を惜しまずにしてい

ただくことを要望いたしまして質問を終わります。ありがとうございました。